

川崎市屋上緑化等助成事業 助成金交付申請の手引き



目 次

1. はじめに	1
2. 助成の考え方	2
3. 助成対象区域	4
4. 助成対象者	4
5. 助成の基準	5
6. 助成の内容	8
7. 助成金の交付申請	9
8. 管理および調査・報告、その他	11
9. 提出書類のチェックリスト	12
10. 申請書類等作成例	13

◆申請書等様式集◆

- ・ 第1号様式 屋上緑化等助成事業助成金交付申請書
- ・ 第3号様式 屋上緑化等助成事業助成金変更承認申請書
- ・ 第4号様式 屋上緑化等助成事業完了報告書
- ・ 屋上緑化等実施計画書
- ・ 経費を証明する書類（工事費見積書）

1. はじめに

■ 屋上緑化等助成事業について

建築物の屋上や壁面の緑化は、これまで利用されることの少なかった屋上や壁面を花と緑にふれあえる場、地域コミュニティの形成の場として再生するなど、市街地の緑を確保する新たな手法として注目されています。

川崎市では、屋上緑化等助成事業として、その普及促進を図るために、屋上緑化等に取り組む市民や事業者に対し、経費の一部を助成しています。

また、この事業の特色として、緑化推進重点地区・地域緑化推進地区の区域内や、リサイクル材を利用した屋上緑化等に対して割増し措置があります。

■ 「川崎市屋上緑化等助成事業助成金交付申請の手引き」の構成

「川崎市屋上緑化等助成事業助成金交付申請の手引き」（以下「本書」という。）では、屋上緑化等助成事業に関し、その内容を説明するとともに、助成金交付申請手続きの手順や、申請書類・添付書類の記入方法などについてまとめてあります。

助成金の交付申請に関しては、本書を参考に、書類を作成し、公益財団法人川崎市公園緑地協会（以下「協会」という。）へ提出してください。

なお、本書に記載された内容などについてご不明な点は、下記までお問い合わせください。

〈問い合わせ先〉

公益財団法人川崎市公園緑地協会

TEL 044(711)6631 FAX 044(722)8410



2. 助成の考え方

助成の対象とする屋上緑化等は、次のとおりです。

■ 屋上緑化

建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）第 2 条に規定する建築物（建築基準法の規定に違反しない建築物で、土や植物の重さに耐えられる建築物）の屋上を緑化するものとします。

〈参考〉助成の対象とならないもの

建築基準法令の規定に違反する建築物への屋上緑化等については、助成の対象とはなりません。目安として、昭和 56 年（1981 年）以前の建物が該当する場合がありますので、詳細についてはご相談ください。

また、集合住宅における共有部分（ベランダ、共通廊下等）への緑化は助成の対象とはなりません。専有部分であっても、緑化工事が可能かどうかの判断は、それぞれの集合住宅によって異なりますので、集合住宅の規約等をよくご確認ください。

◆「屋上」とは、「建築物の屋根の上」を指し、陸屋根・傾斜屋根等、屋根の形態によって助成の対象を限定することはありません。また、建築物の屋根部分で、人の出入りができない場合でも、緑化による効果が期待でき、維持管理上必要な対策が講じられている場合は、助成の対象となります。



陸屋根の緑化



傾斜屋根の緑化

■ 壁面緑化

建築物及び工作物（建築物に附属する門または塀等）の壁面を緑化するものとします。ただし、助成の対象は壁面緑化の持つ景観的な効果を、建築物の利用者だけでなく、屋外を通行する一般市民も楽しめるものとするため、一般通行の用に供する道路又は水路敷（暗渠化されたものに限る。）に面する

部分の緑化とします。(助成の対象とならない場合もありますので、事前にご相談ください。)

* 屋上緑化等助成の対象とする緑化工事の具体的内容は、5 ページからの「5. 助成の基準」を参照してください。



■ 緑化推進重点地区・地域緑化推進地区及びリサイクル材を利用した屋上緑化等

- 屋上緑化等助成事業の特色として、緑化推進重点地区の区域内及びリサイクル材を利用した屋上緑化等については、助成金額を2割増とし、地域緑化推進地区の区域内の助成金額は、1割増となります。

なお、緑化推進重点地区・地域緑化推進地区及びリサイクル材については、次のとおりです。

■ 緑化推進重点地区・地域緑化推進地区

緑化推進重点地区とは、都市の顔となる地区として、重点的な緑化を推進することが効果的な地区、市街地開発事業等と連携して計画を策定することが可能な地区、緑による良好な住環境の形成を図ることができる地区を指定しています。

地域緑化推進地区とは、緑豊かな住み良い環境のまちにするために、「地域の緑化をどう進めていくか、緑地や緑化された樹木等をどう管理していくか」などを住民のみなさんが自ら計画し、自主的な緑化活動に取り組んでいる地域のうち、計画案を条例に基づき市長が「地域緑化推進地区」として認定した地区です。

緑化推進重点地区・地域緑化推進地区の詳細については、みどりの協働推進課にお問い合わせください。

市のホームページ

川崎市 緑化推進重点地区

川崎市 地域緑化推進地区

検索

■ リサイクル材

リサイクル材とは、「資源の有効な利用の促進に関する法律」第2条第4項における「再生資源」と同じものとしします。

リサイクル材の例としては、土壌改良材や保水材として利用されている次のようなものなどがあります。

- ・ヤシ殻ダスト（タワシなどの製造過程で発生する。）
- ・廃パーライト（パーライトの製造過程で発生する。）
- ・発泡スラグ（ごみ焼却施設から排出されるスラグを加工する。）

〈参考〉「資源の有効な利用の促進に関する法律」第2条第4項の条文

『この法律において「再生資源」とは、使用済物品等又は副産物のうち有用なものであって、原材料として利用することができるもの又はその可能性のあるものをいう。』

3. 助成対象区域

助成の対象区域は次のとおりです。

助成の対象となる区域は、市街化区域内とし、市街化調整区域内の建築物は原則として助成対象とはなりません。ただし、社会福祉施設や医療施設等については、例外措置を講じる場合があります。

4. 助成対象者

助成対象者は次のとおりです。

- 1 市内に、建築物を所有又は管理する人
- 2 市内に、新たに建築物を建築しようとする人

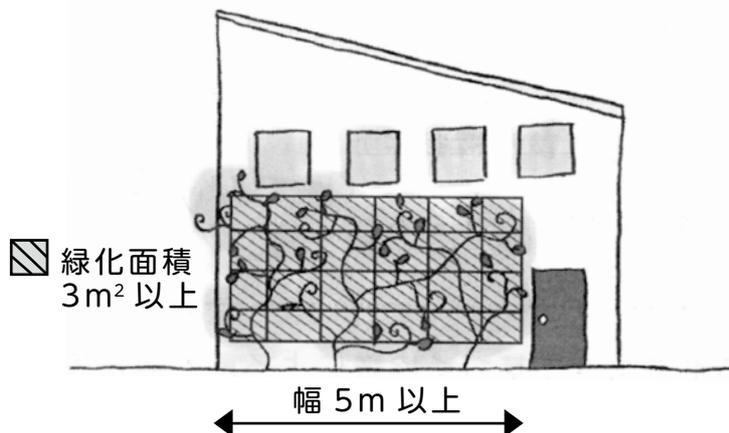
ただし、次の事項に該当する者は、助成の対象とはなりません。

- (1) 国又は地方公共団体及びこれらに準ずる団体
- (2) 建築物の建築行為において、川崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例に基づく緑化協議により、緑化面積として確保する屋上緑化又は壁面緑化を行う人。
- (3) 不動産の販売を目的とする人

5. 助成の基準

助成の基準は次のとおりです。

- 1 屋上緑化は、樹木、芝、地被類等により、建築物の屋上を 3m²以上 緑化するものであること。
- 2 壁面緑化は、つる性植物等により、建築物の壁面が 幅 5m 以上、又は緑化面積 3m² 以上 緑化するものであること。



助成の対象となる屋上緑化等工事の具体的内容は次のとおりです。

■ 防水工事

新規建築物における防水工事のうち、緑化面積に相当する範囲が助成の対象となります。また、既存建築物においては、屋上緑化を行うに当たって必要な防水層の補修工事、防水層の保護工事、並びに防根層の設置工事のうち、緑化面積に相当する範囲が助成の対象となります。(次ページ図 1 参照)

■ 植栽基盤工事

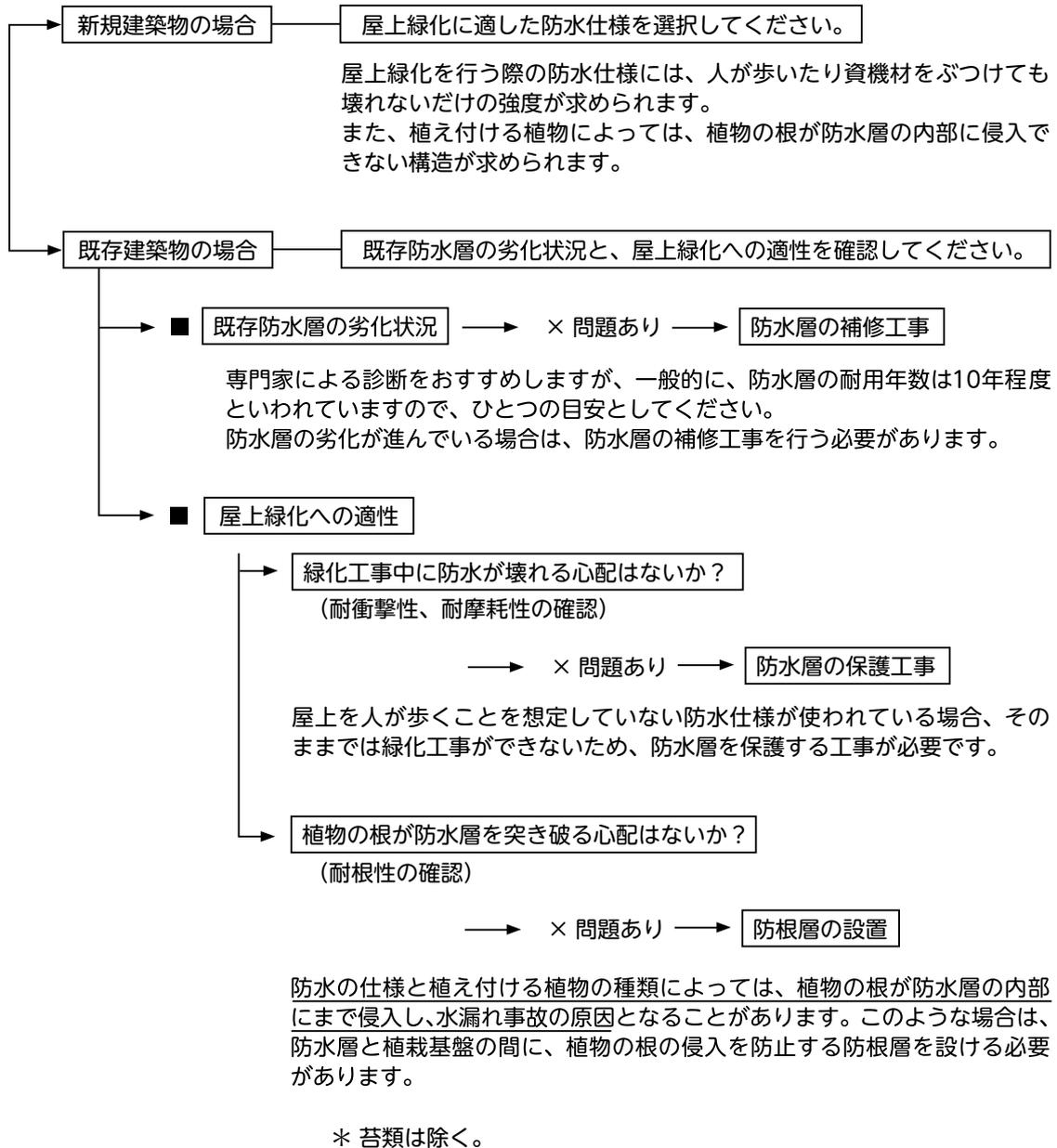
植物を恒常的に育成するために必要となる土壌層、排水層、縁留め材等の施設が助成の対象となります。

■ 植栽工事

植栽基盤上に育成する植物のうち、緑化による効果が継続的に得られる多年生植物が助成対象となります。

一・二年生の植物を用いた花壇・菜園を設ける場合は、同用途を通年継続することを条件として、施工当初に植え付ける草花や野菜の苗等が助成の対象となります。

図1 〈防水工事等についての標準的な考え方〉



■ 自然的環境を創出するための施設工事

自然的環境を創出するために植栽基盤内に設ける池（トンボ池など）が助成の対象となります。

■ 補助資材工事

植物の生長を誘因するために必要なポール、ワイヤー、ネット、トレリス、パーゴラ等の補助資材が助成の対象となります。

■ 安全対策施設の工事

緑化場所において植物の転倒・落下防止などのための安全性を確保するために設ける施設（支柱など）が助成の対象となります。

■ 屋上排水対策施設の工事

建築物の屋上に設けられた排水孔（ルーフドレイン）の目詰まり防止のために設けるカバーやフィルター等の施設が助成の対象となります。

■ 灌水設備工事

屋上緑化等の維持管理の上で必要とする灌水設備（当該建築物に付属する直近配管からの分岐・引き回し及び水栓装置など。自動灌水装置を含む。）が助成の対象となります。

■ 管理施設の工事

屋上緑化等の維持管理の上で必要とする管理施設（保守点検通路など）を緑化区域内に設ける場合は助成の対象となります。

〈参考〉防根層の工事についての考え方

防根層については、植栽される植物の種類や植栽基盤の仕様（セダムのユニット製品で植物の根が防水層に侵入する恐れのないものなど）により助成の対象かどうかの判断をさせていただきます。

これは、助成金算定の根拠となるもので、設計の内容を左右するものではありません。

■ 助成の対象とならない屋上緑化等工事の具体的内容は次のとおりです。

修景を目的とした施設（維持管理上必要のない装飾や彫刻等）、休養を目的とした施設（ベンチ、テーブル、ウッドデッキ、日除棚等）の工事は助成の対象とはなりません。

また、プランター等を用いた移設可能な形式による屋上緑化等は、屋上緑化等の継続性に問題があるため、助成の対象とはなりません。

6. 助成の内容

助成の内容については、次のとおりです。

緑化区分	助成対象経費	助成金額
屋上緑化	植物及び植栽基盤材(土壌等)の購入経費 防水、漏水、排水施設の整備費等	・ 1m ² 当たり 1 万円を限度とする。 ・ 1 件当たり 100 万円を限度とする。
壁面緑化	つる性植物等の購入経費 支え材等資材の購入経費	・ 緑化壁面延長 1m 当たり 3 千円を限度とする。 ・ 緑化面積 1m ² 当たり 1 万円を限度とする。 ・ 1 件当たり 50 万円を限度とする。

- (注) ・ 助成率は、助成の対象となる経費の 2 分の 1 とします。ただし、1m² 当たりの助成単価及び助成金額の限度額は表のとおりです。
- ・ 緑化面積 1m² 未満の端数については、切り上げるものとします。
 - ・ 助成金額に千円未満の端数が生じた場合は、これを切り捨てます。
 - ・ 緑化推進重点地区等の場合は、助成金額を 2 割増とします。
 - ・ 地域緑化推進地区の場合は助成金額を 1 割増とします。

助成金額については、申請書類の内容を審査の上、決定します。

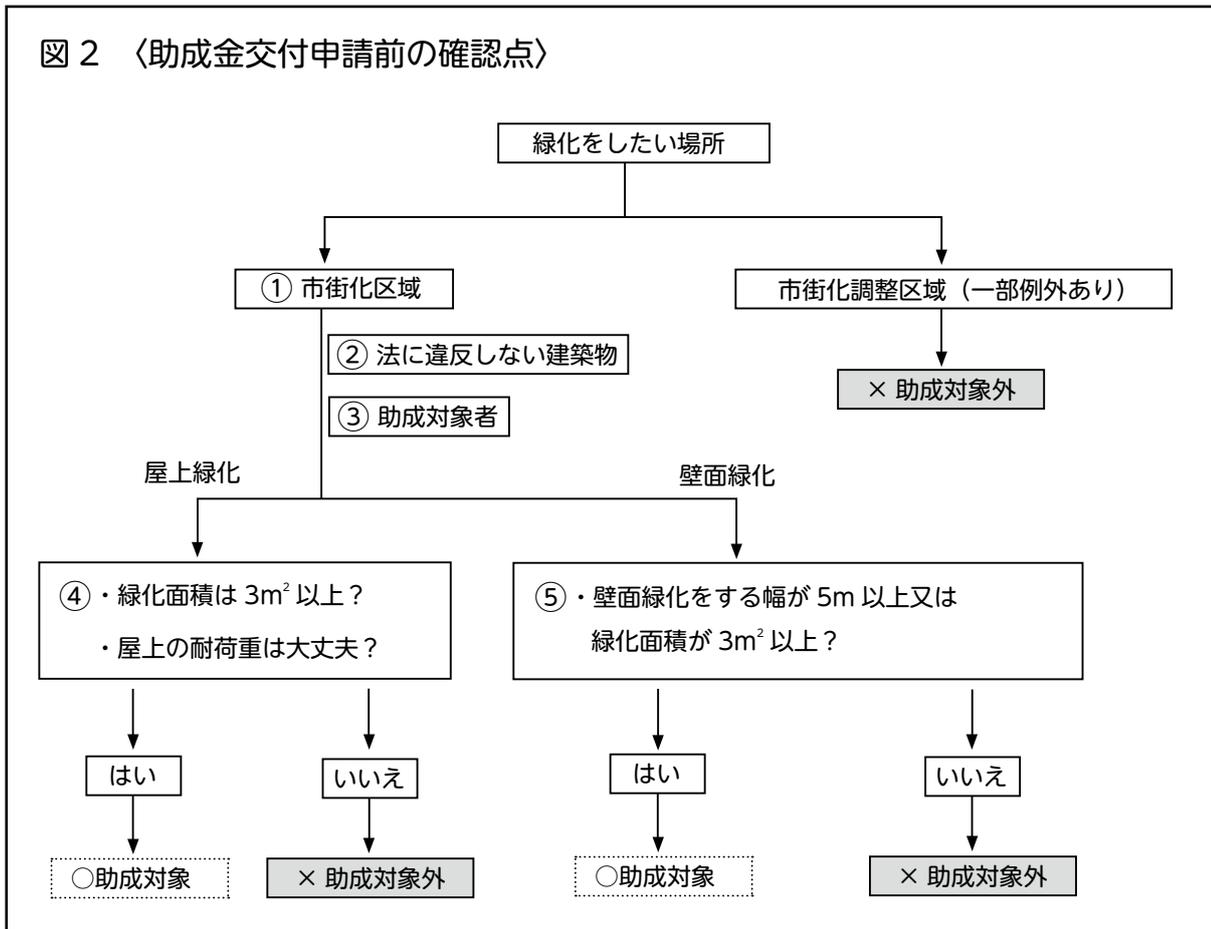


7. 助成金の交付申請

助成金の交付申請から交付に至る手続きについては、次のとおりです。

まず、申請をする前に、図2を参考にして、助成の対象となるかどうかを確認してください。

図2 〈助成金交付申請前の確認点〉

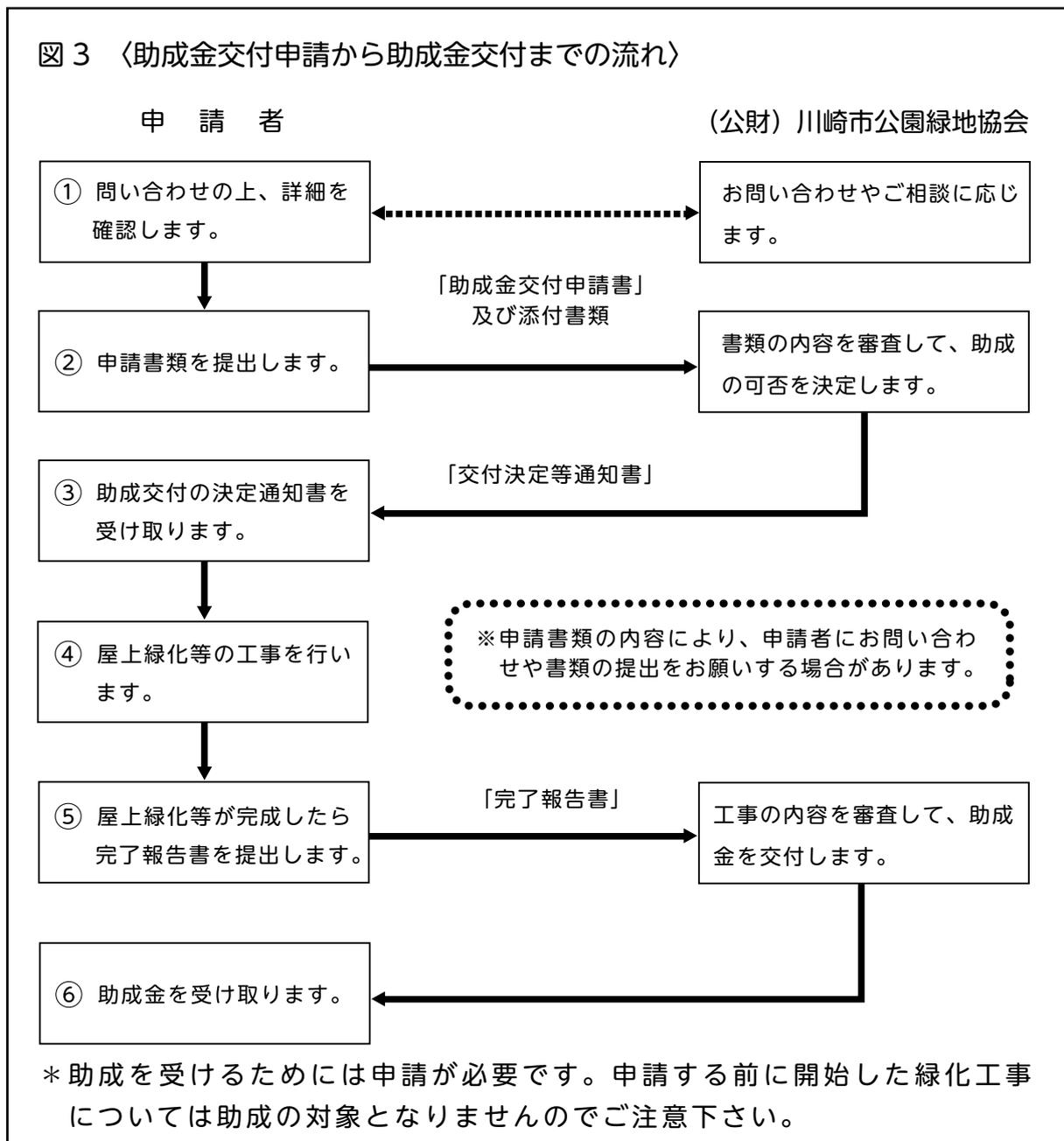


〈図2の説明〉

- ① 緑化をしたい場所が、市街化区域内であること（4ページ参照）
- ② 建築基準法の規定に違反しない建築物であること（2ページ参照）
- ③ 申請者が、助成対象者であること（4ページ参照）
- ④ 屋上緑化の場合、緑化面積が3m²以上で、特に既存建築物の場合は、土や植物の重さに建物が耐えられること（2及び5ページ参照）
- ⑤ 壁面緑化の場合は、緑化する部分の幅が5m以上又は緑化面積が3m²以上で、一般通行の用に供する道路又は水路敷（暗渠化されたものに限る。）に面する部分であること（2及び5ページ参照）

以上の点が確認できましたら、次ページの図3を参考にして、申請してください。

図3 〈助成金交付申請から助成金交付までの流れ〉



〈図3の説明〉

- ① 屋上緑化等を計画したら、詳細を確認してください。
- ② 助成を受けようとする人は、屋上緑化等助成事業助成金交付申請書（第1号様式）に次の書類を添付し、協会へ提出します。
 - (1) 屋上緑化等実施計画書
 - (2) 実施場所の位置図
 - (3) 経費を証明する書類（工事費見積書）
 - (4) 緑化関係図面
 - (5) 実施場所の工事開始前の写真
 - (6) 実施場所の建築物所有者の承諾書（申請者と建築物所有者が異なるとき）
 - (7) その他理事長が必要と認める書類

③ 助成金の交付申請があったときは、その内容を審査して、助成交付について決定し、その結果を申請者に通知します。

*書類の審査は、2週間程度かかります。工事予定期間は、審査日数を考慮して設定してください。

④ 通知を受けた申請者は、屋上緑化等の工事を行います。ただし、決定通知後に事業内容の変更を行おうとするときは、速やかに屋上緑化等助成事業助成金変更承認申請書（第3号様式）を協会に提出してください。

⑤ 屋上緑化等工事が完了した時には、速やかに屋上緑化等助成事業完了報告書（第4号様式）に次の書類を添付し、協会へ提出します。

(1) 経費の支払を証明する書類（領収書のコピー可）

(2) 完成図面（出来高寸法が入っている図面）

(3) 施工中と完成後の写真（全体が分かるもの）

(4) その他理事長が必要と認める書類

⑥ 協会は、完了報告書を確認・審査の上、助成金を交付し、申請者は助成金を受け取ります。

*添付書類の記入については、申請書類等作成例（13～26ページ）を参考にしてください。

■ 助成金の返還について

助成金の交付を受けた者が、次のいずれかに該当するときは、交付した助成金の全部又は一部の返還を求めます。

(1) 虚偽その他不正な手段により助成金の交付を受けたとき

(2) 助成金の交付決定の条件に反する行為があったとき

8. 管理および調査・報告、その他

■ 事業完了後の管理および調査・報告等は、次のとおりです。

助成金の交付を受けた申請者は、事業が完了した後においても、屋上緑化等の各種効果が継続的に得られることをめざし、最低5年間は善良な管理者の注意をもって、植物等の育成及び管理に努めてください。

また、助成金の交付後、必要に応じて現状について調査し、報告を求め、指導を行う場合もありますので、ご協力をお願いいたします。

9. 提出書類のチェックリスト

助成金の交付申請に必要な書類は次のとおりです。書類提出時のチェックリストとしてご活用ください。(各書類の記入方法については、次ページからの「10. 申請書類等作成例」を参照してください。)

- 第1号様式 屋上緑化等助成事業助成金交付申請書 (p.13) …………… □
- 添付書類
 - (1) 屋上緑化等実施計画書 (P.14) …………… □
 - (2) 実施場所の位置図 (P.15) …………… □
 - (3) 経費を証明する書類 (工事費見積書) (P.16) …………… □
 - (4) 緑化関係図面
 - 4-1) 建築物の現況平面図 (P.17) …………… □
 - 4-2) 緑化面積求積図 (P.18) …………… □
 - 4-3) 植栽平面図 (P.19) …………… □
 - 芝生面積求積図 (P.20) …………… □
 - 4-4) 植栽基盤断面図 (P.21) …………… □
 - 4-5) 施設配置平面図 (P.22) …………… □
 - 4-6) 施設数量求積図 (P.23) …………… □
 - (5) 実施場所の工事開始前の写真 (P.24) …………… □
 - * 壁面緑化の場合は、一般供用の道路から見た緑化場所の写真 …… □
 - (6) 実施場所の建築物所有者の承諾書 (申請者と建築物所有者が異なるとき) □
 - (7) その他理事長が必要と認める書類 …………… □
- 完了報告時の添付書類
 - (8) 経費の支払を証明する書類 (領収書のコピー可) …………… □
 - (9) 施工中の写真 (全体がわかるもの) (P.25) …………… □
 - (10) 完成図面 (出来高寸法が入っている図面) (P.26) …………… □
 - (11) 完成後の写真 (全体がわかるもの) (P.26) …………… □
 - (12) その他理事長が必要と認める書類 …………… □

10. 申請書類等作成例

第1号様式

屋上緑化等助成事業助成金交付申請書

(あて先)
公益財団法人川崎市公園緑地協会理事長

平成30年 4月 1日

住所 川崎市川崎区宮本町1番地

氏名 川崎 太郎 (印)

電話番号 044 (123) 4567
(法人にあっては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名)

申請日・住所・氏名等を記入

次のとおり屋上緑化等助成事業助成金の交付を受けたいので申請します。

申請内容	金額 ○ ○ ○ 円	
	内訳	
	屋上緑化 ○ ○ ○ 円	
	壁面緑化 円	

緑化に必要な経費
(工事費見積額)

所在地	川崎市川崎区宮本町1番地	面積または、延長	緑化面積 5.9 m ² 緑化壁面延長 _____ m 誘引基盤面積 _____ m ²
-----	--------------	----------	--

緑化する面積
(1m²未満の
端数は切り上げる。)

工 期	平成30年 5月 1日 ~ 平成30年 6月 29日
-----	----------------------------

添付書類

- ①屋上緑化又は壁面緑化の実施計画書
- ②実施場所の位置図
- ③工事費見積書
- ④緑化関係図書(計画平面図、詳細図、植栽基盤・誘引基盤等断面図、等)
- ⑤実施場所の工事開始前の写真
- ⑥実施場所の建築物等の所有者の承諾書(申請者と所有者が異なるとき)
- ⑦その他 (.....)

- ※ 現状の屋上緑化等の改造又は更新する場合や着手している場合は申請できません。
- ※ 屋上緑化は、専ら1・2年生の植物による花壇や菜園の場合は申請できません
- ※ 申請内容の金額は、消費税相当額を含まない見積金額を記入してください。
- ※ 上記以外の目的で個人情報を利用することはありません。

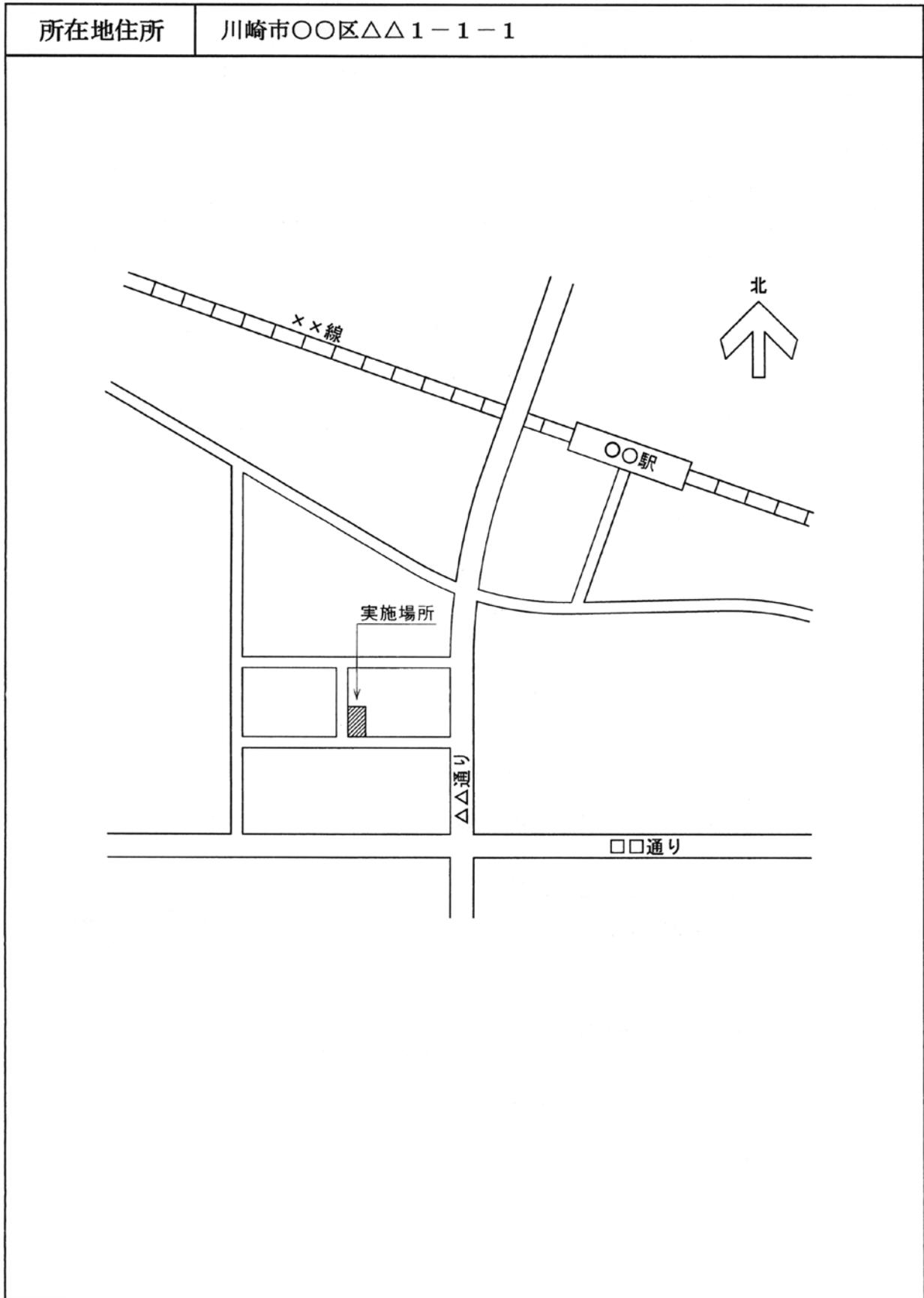
(1) 屋上緑化等実施計画書（作成例）

屋上緑化等実施計画書

区分	<input checked="" type="checkbox"/> 屋上緑化	<input type="checkbox"/> 壁面緑化
建築物等の区分	<input type="checkbox"/> 新設建築物	<input checked="" type="checkbox"/> 既存建築物（建築年 平成 26 年）
屋上防水仕様	<input type="checkbox"/> アスファルト防水 <input type="checkbox"/> その他（	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水 <input type="checkbox"/> 塗膜防水 ）
敷地面積	140.3 m ²	
緑化面積等	屋上緑化	59 (外寸面積表示) m ²
	壁面緑化	— m ² (m)
工事内容	防水工事	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>
	漏水設備工事	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	植栽基盤工事 防根層	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
	植栽工事	
	多年生植物 高中木	1 種 14 本
	低灌木	2 種 9 本
	地被 ポット苗	18 種 149 株
	芝生	32.24 m ²
	セダム・苔	— m ²
	つる性植物	4 種 13 株
一・二年生植物 草花類	5 種 61 株	
野菜類	— 種 — 株	
補助資材工事	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
安全対策施設工事	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
屋上排水対策施設工事	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
管理施設工事	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	
備考		

(2) 実施場所の位置図 (作成例)

実施場所の位置図



(3) 経費を証明する書類（工事費見積書）（作成例）

屋上緑化等工事費見積書

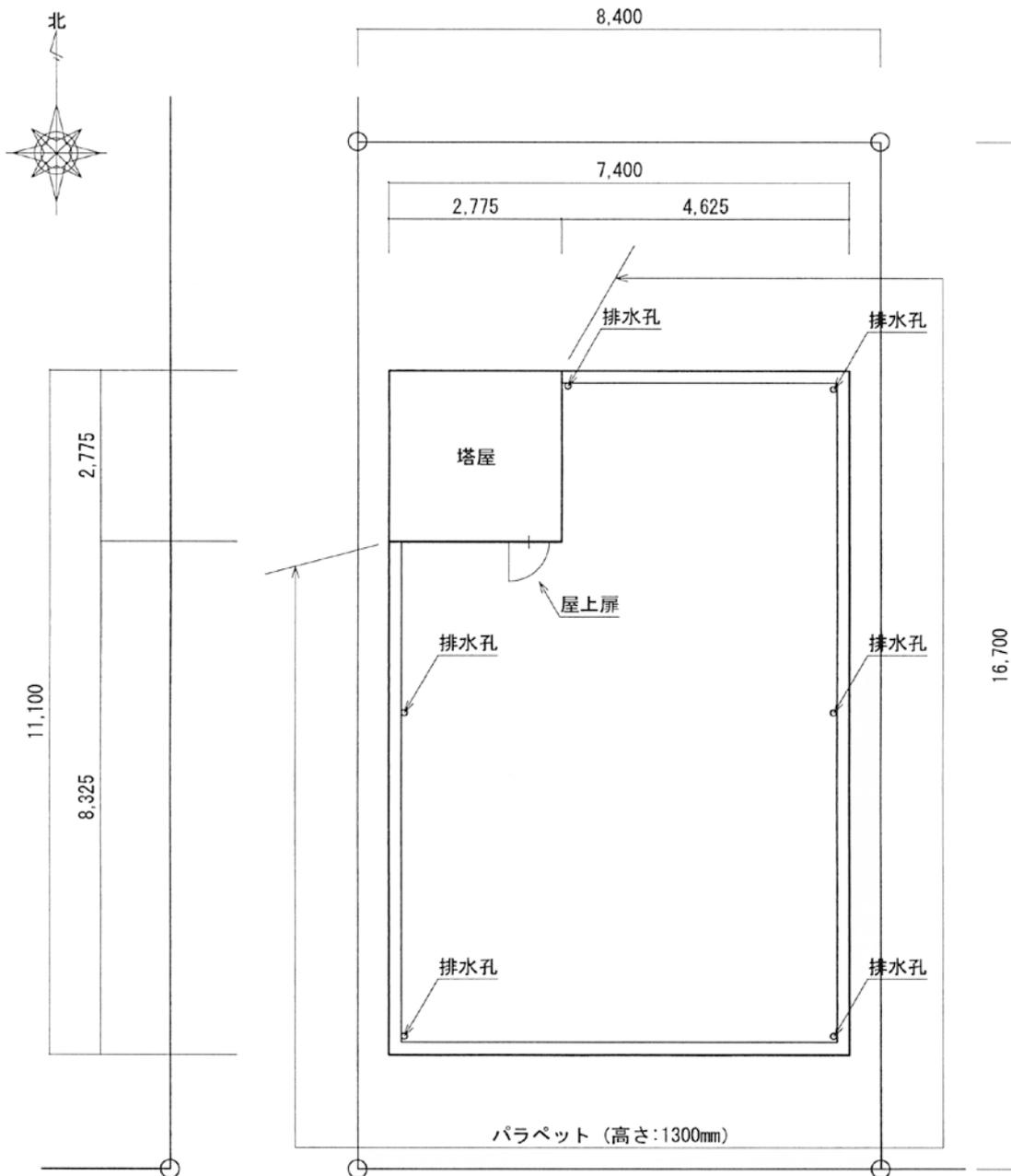
工種		品名	形状寸法	数量	単位	金額	リサイクル材 使用の有無	
助成対象工事								
防水 工事	防水工事			—	m ²	（金額を記入して下さい）		
	防根層工事			—	m ²			
植栽 基盤 工事	保水シート			58.95	m ²			
	土壌層（厚さ 10cm）		フェルト	34.15	m ²			
	"（厚さ 15cm～30cm）		人工軽量土壌	リサイクル材	26.56		m ²	○
	排水層		人工軽量土壌	リサイクル材	—		m ²	○
	縁留め材等（高さ 13cm）				12.08		m	
	"（高さ 18cm）		普通レンガ		15.61		m	
植栽 工事	多年生 植物	高中木		14	本			
		低灌木		9	本			
		地被類	ポット苗		149		株	
			芝生		33.54		m ²	
			セダム・苔		—		m ²	
	つる性植物		13	株				
	一・二年 生植物	草花類		61	株			
		野菜類		—	株			
自然環境 創出施設 工事	池防水			—	m ²			
	池護岸			—	m ²			
補助資材 工事	ポール・ワイヤー・ネット類			—	組			
	トレリス類			—	m			
	パーゴラ類			1	基			
安全対策 施設工事	支柱・支持材類		布掛け支柱	竹製	10	m		
屋上排水 対策施設 工事	ドレインカバー類		ドレインカバー	ステンレス製	6	個		
灌水設備 工事	配管		13A	15	m			
	弁類		逆止弁	1	個			
	水栓類		ホーム水栓	1	個			
	"		立ち水栓台	1	台			
	自動灌水装置類			—	個			
管理施設 工事	保守点検通路			—	m ²			
消費税								
計								

※経費は単価に含む。

*リサイクル材を使用する場合、リサイクル材と判断できる資料を添付してください。

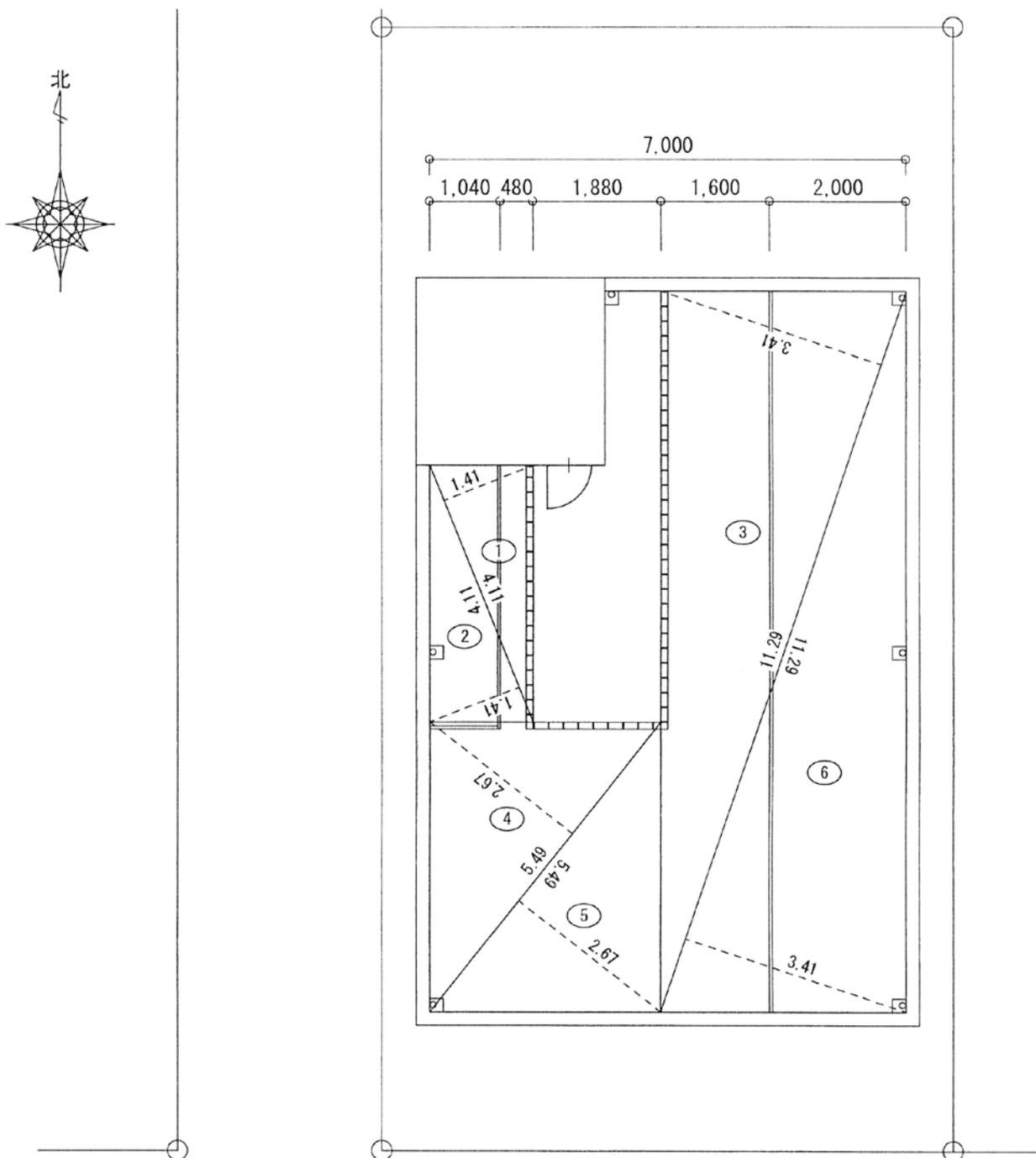
(4) 緑化関係図面

4-1) 建築物の現況平面図 (作成例)



* 緑化対象箇所 (屋上または壁面) の平面図としてください。

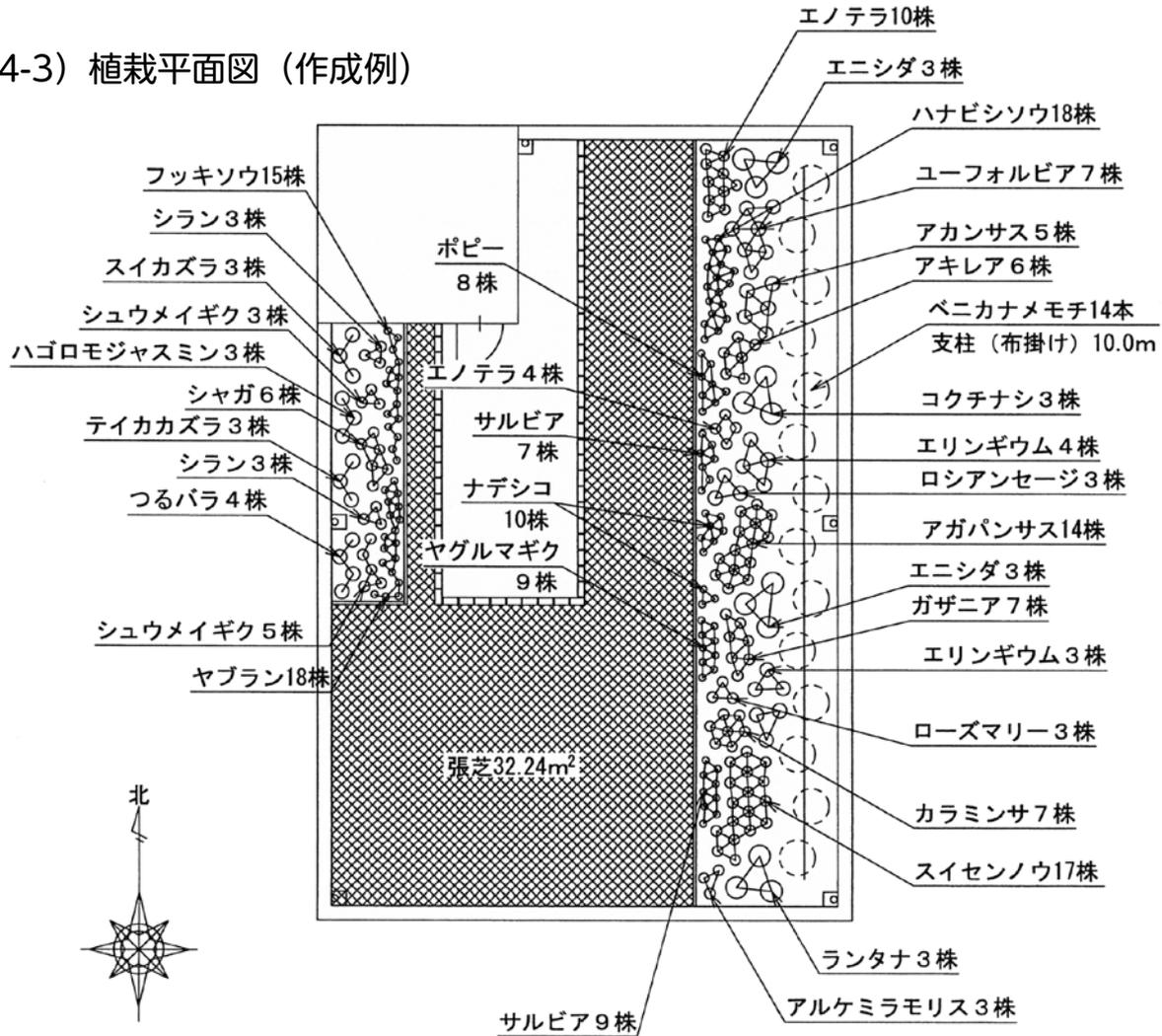
4-2) 緑化面積求積図 (作成例)



番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	4.11	1.41	5.7951	2.89755
2	4.11	1.41	5.7951	2.89755
3	11.29	3.41	38.4989	19.24945
4	5.49	2.67	14.6583	7.32915
5	5.49	2.67	14.6583	7.32915
6	11.29	3.41	38.4989	19.24945
合 計				58.95230
緑 化 面 積				58.95 m ²

* 面積の算定は三斜求積法により行ってください。

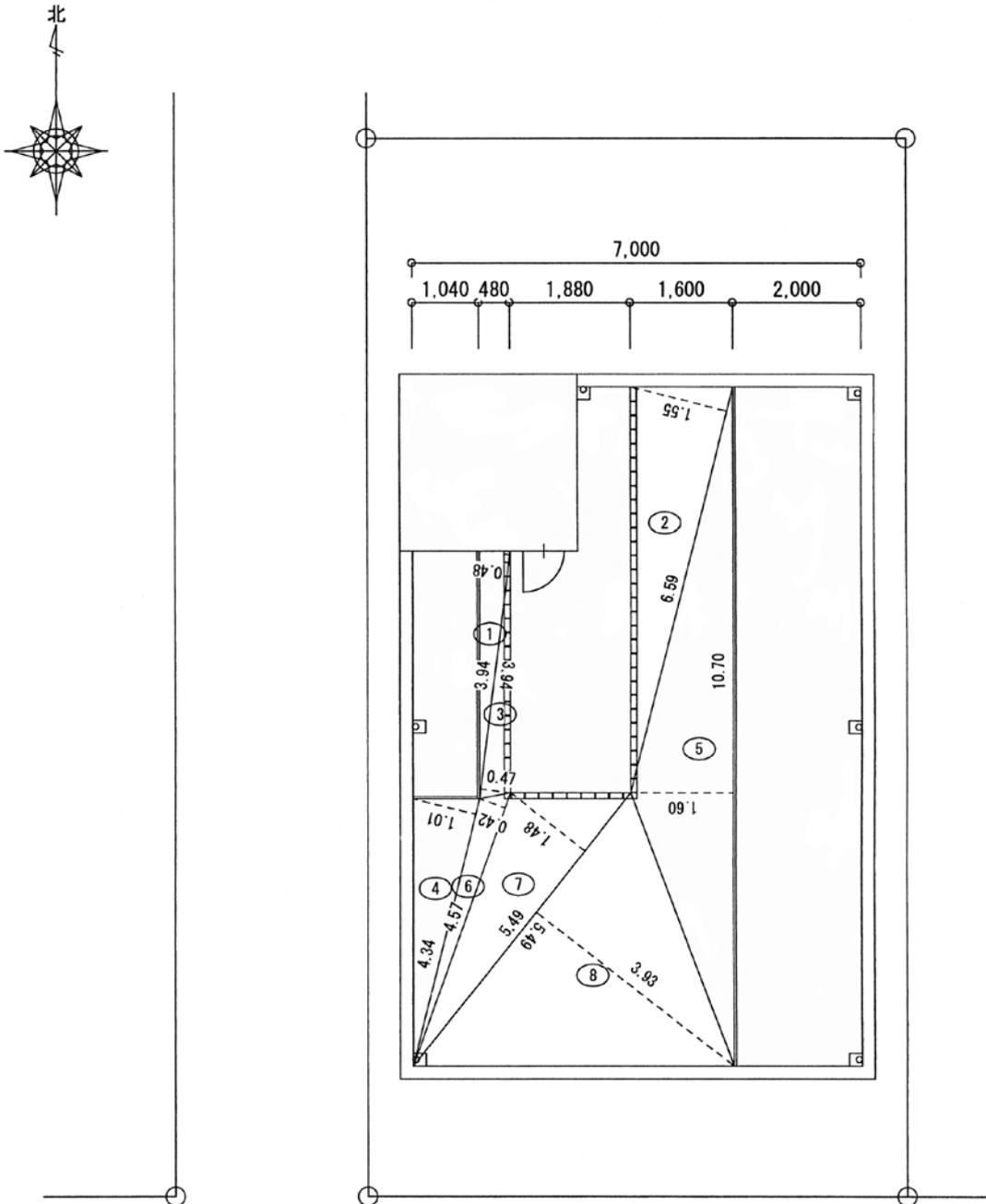
4-3) 植栽平面図 (作成例)



名称		形状寸法 (m)			数量	単位	備考	
		高さ	幹周	葉張				
多年生植物	高中木	ベニカナメモチ	1.8	0.5	14	本	布掛け支柱: 10.0m	
		計			14	本		
	低灌木	エニシダ	0.5		6	本	=3+3	
		コクチナシ	0.2	0.3	3	本		
	計			9	本			
	地被類	ポット苗	アガパンサス			14	株	
			アカンサス			5	株	
			アキレア			6	株	
			アルケミラモリス			3	株	
			エノテラ			14	株	=10+4
			エリンギウム			7	株	=4+3
			ガザニア			7	株	
			カラミンサ			7	株	
			シャガ			6	株	
			シュウメイギク			8	株	=3+5
			シラン			6	株	=3+3
			スイセンノウ			17	株	
			フッキソウ			15	株	
			ヤブラン			18	株	
			ユーフォルビア			7	株	
			ランタナ			3	株	
			ローズマリー			3	株	
	ロシアンセージ			3	株			
	計			149	株			
	芝生	張芝 (コウライシバ)			32.24	m ²		
	つる性植物		スイカズラ			3	株	
			つるバラ			4	株	
テイカズラ					3	株		
ハゴロモジャスミン					3	株		
計					13	株		
一・二年生植物	草花	サルビア			16	株	=7+9	
		ナデシコ			10	株		
		ハナビシソウ			18	株		
		ポピー			8	株		
		ヤグルマギク			9	株		
計			61	株				

※芝生面積求積図参照

4-3) 芝生面積求積図 (作成例)

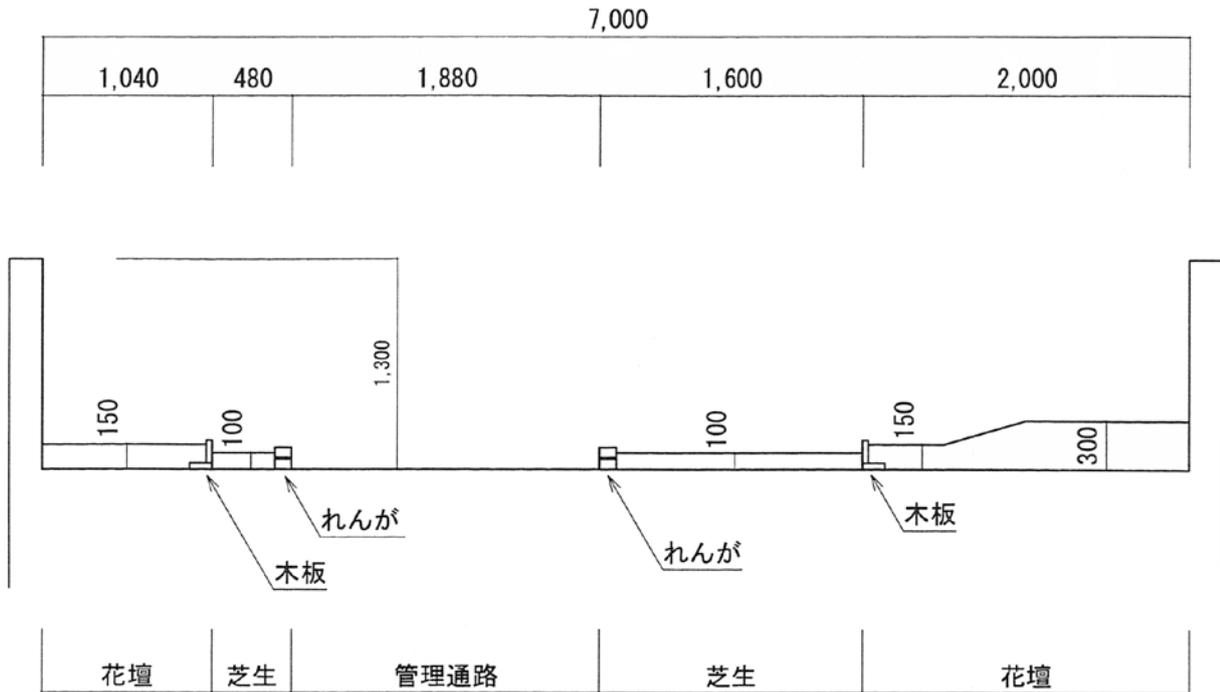


芝生面積

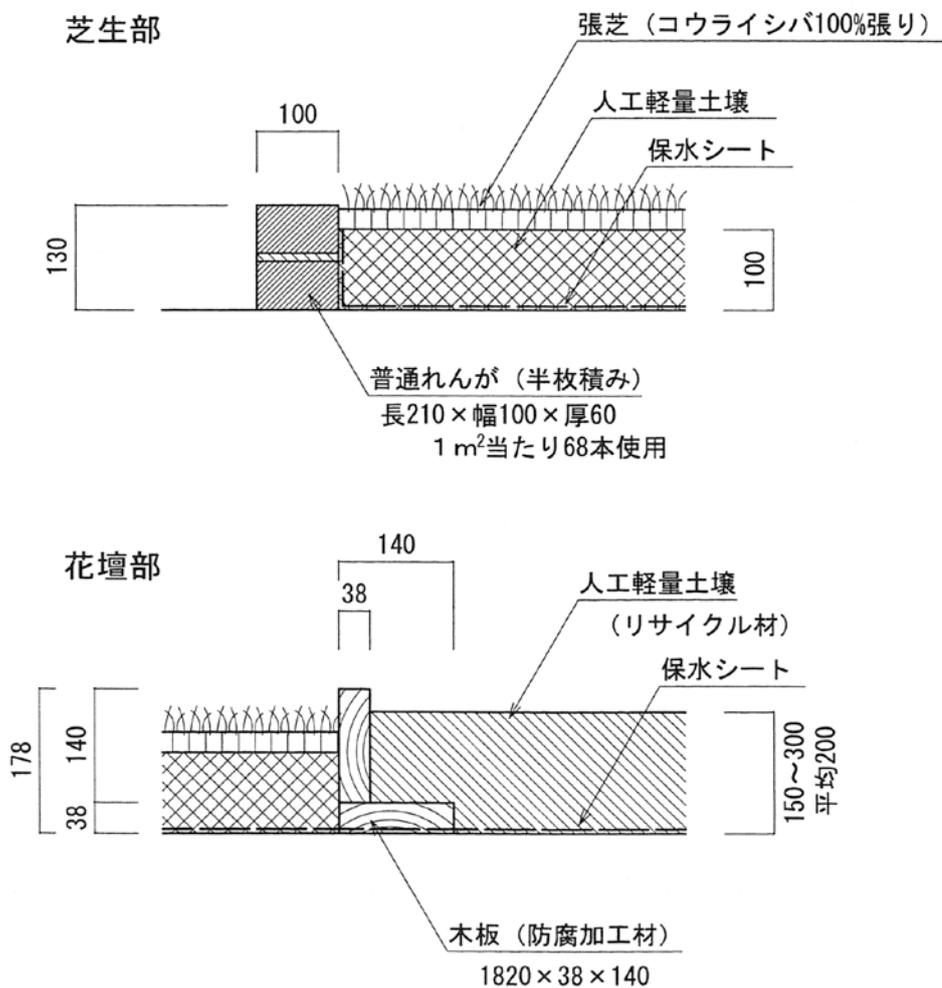
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	3.94	0.48	1.8912	0.94560
2	6.59	1.55	10.2145	5.10725
3	3.94	0.47	1.8518	0.92590
4	4.34	1.01	4.3834	2.19170
5	10.70	1.60	17.1200	8.56000
6	4.57	0.42	1.9194	0.95970
7	5.49	1.48	8.1252	4.06260
8	5.49	3.93	21.5757	10.78785
合 計				33.54060
芝 生 面 積				33.54 m ²

* 芝生など面積で数量を算出している場合は、三斜求積法による根拠図が必要です。

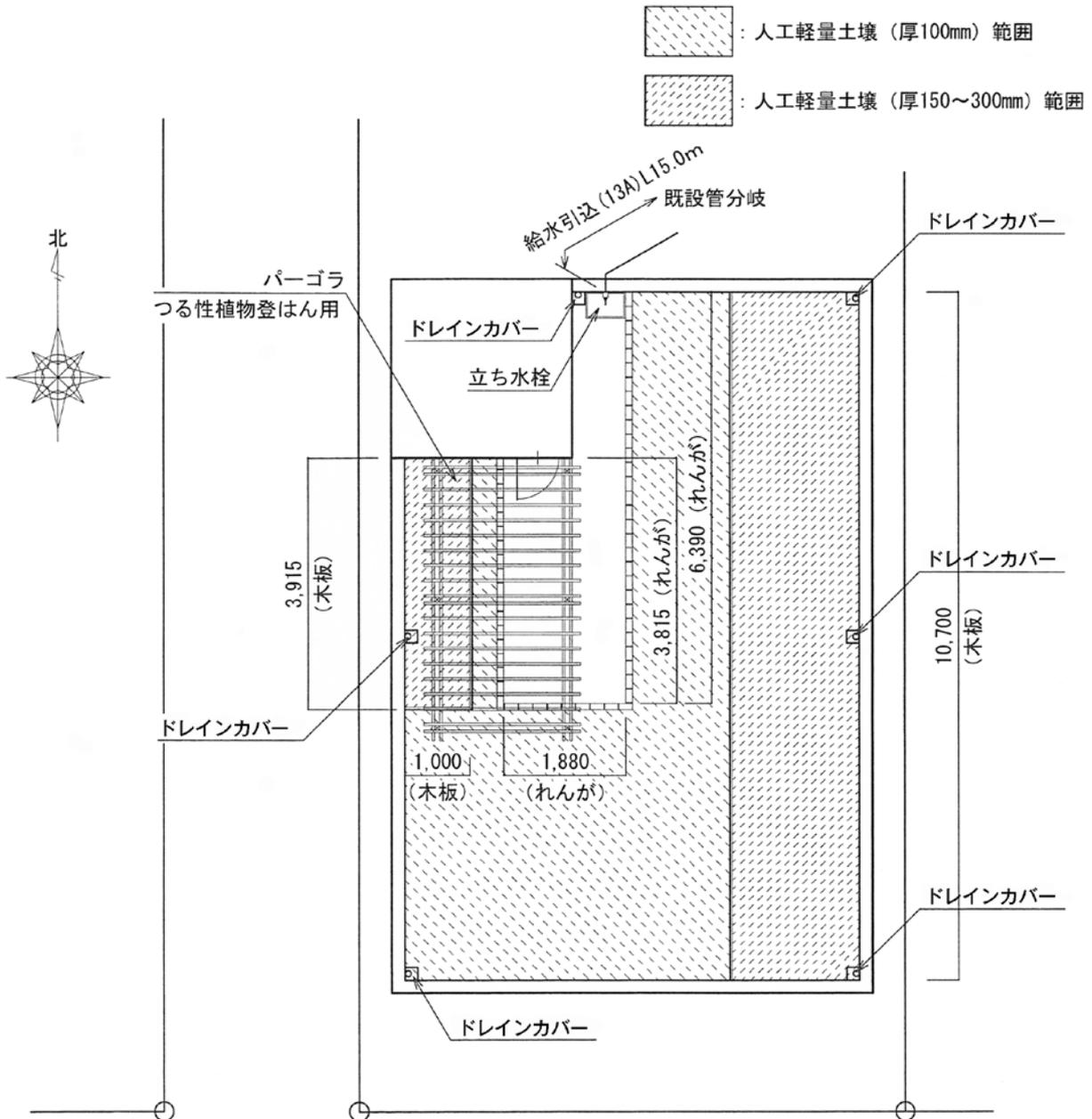
4-4) 植栽基盤断面図 (作成例)



緑化対象：既存建築物（塩化ビニール系シート防水）

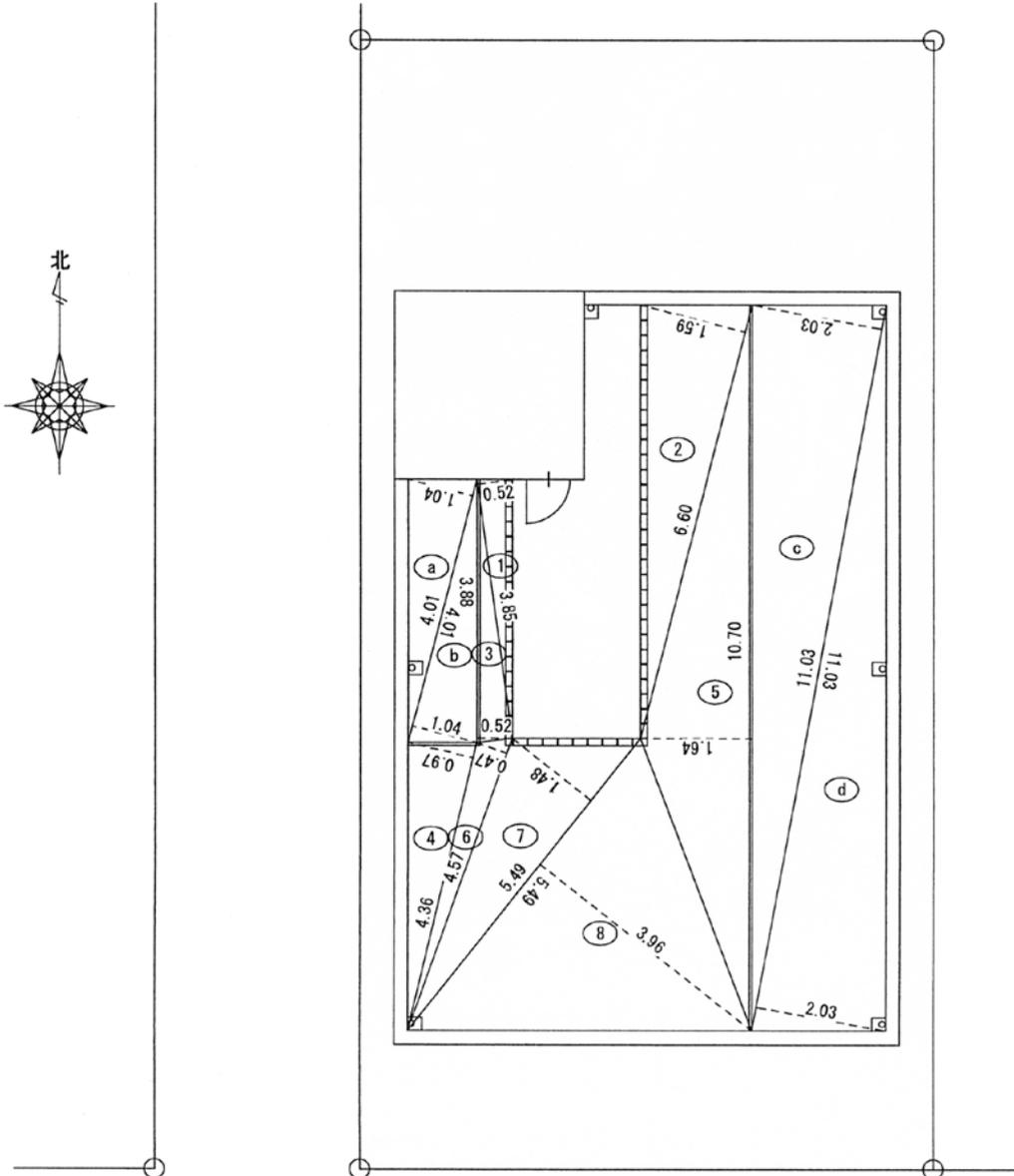


4-5) 施設配置平面図 (参考例)



名称	形状寸法	数量	単位	備考
植栽基盤工事				
保水シート	フェルト材	58.80	m ²	=緑化面積
人工軽量土壌 (厚100mm)	リサイクル材	32.24	m ²	=芝生面積
人工軽量土壌 (厚150~300mm)	リサイクル材	26.56	m ²	=緑化面積-芝生面積
縁留め材	普通れんが半枚積み	12.08	m	=6.39+1.88+3.815
	木板 1820×38×140	15.61	m	=10.70+3.915+1.00
補助資材工事				
パーゴラ	木製 2000×4000×h2100	1	基	
安全対策施設工事				
支柱	布掛け (竹製)	10.00	m	
屋上排水対策施設工事				
ドレインカバー	ステンレス製 300×300×350	6	個	
灌水設備工事				
配管	13A L=15.0m	15	m	
逆止弁		1	個	
ホーム水栓		1	個	
立ち水栓台		1	台	

4-6) 施設数量求積図 (作成例)



人工軽量土壌 (厚10cm) 面積

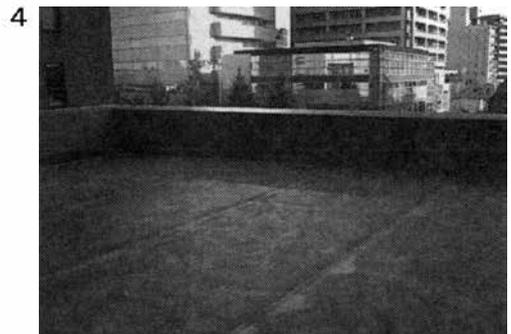
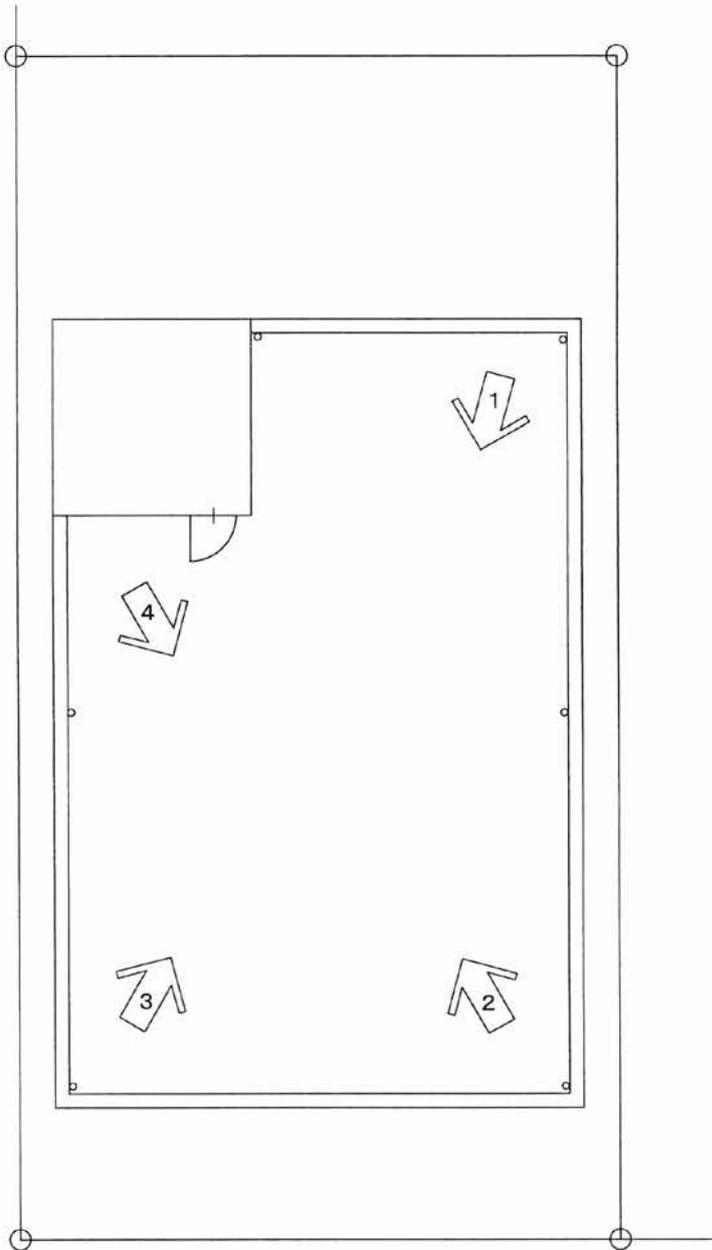
番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	3.85	0.52	2.0020	1.00100
2	6.60	1.59	10.4940	5.24700
3	3.88	0.52	2.0176	1.00880
4	4.36	0.97	4.2292	2.11460
5	10.70	1.64	17.5480	8.77400
6	4.57	0.47	2.1479	1.07395
7	5.49	1.48	8.1252	4.06260
8	5.49	3.96	21.7404	10.87020
合 計				34.15215
人工軽量土壌 (厚10cm) 面積				34.15 m ²

人工軽量土壌 (厚15~30cm) 面積

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
a	4.01	1.04	4.1704	2.08520
b	4.01	1.04	4.1704	2.08520
c	11.03	2.03	22.3909	11.19545
d	11.03	2.03	22.3909	11.19545
合 計				26.56130
人工軽量土壌 (厚15~30cm) 面積				26.56 m ²

* 面積の算定は三斜求積法により行ってください。

(5) 実施場所の工事開始前の写真（作成例）



* 平面図に、写真を撮影した場所と方向を矢印などで記入してください。

(9) 施工中の写真（作成例）



○月×日
保水シート敷き詰め作業



○月×日
人工軽量土壌の散布・敷き詰め作業



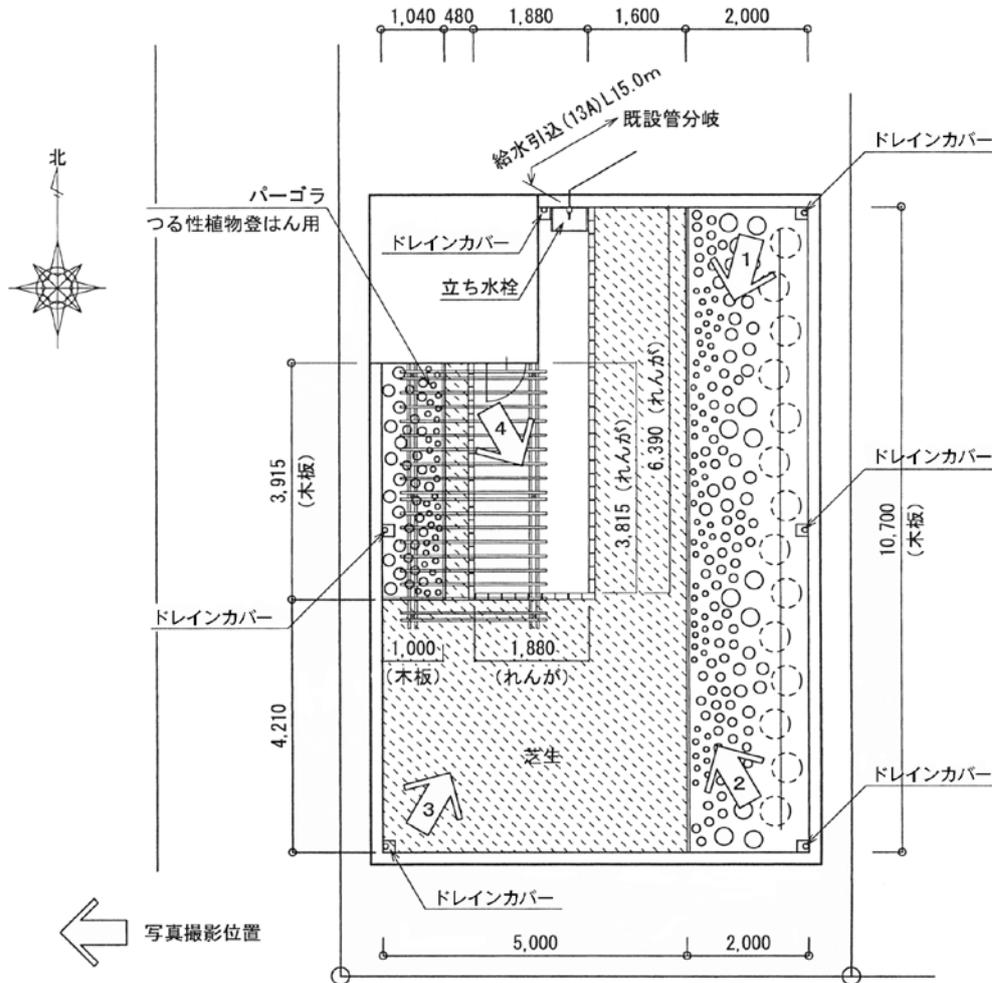
○月×日
マルチング材散布作業



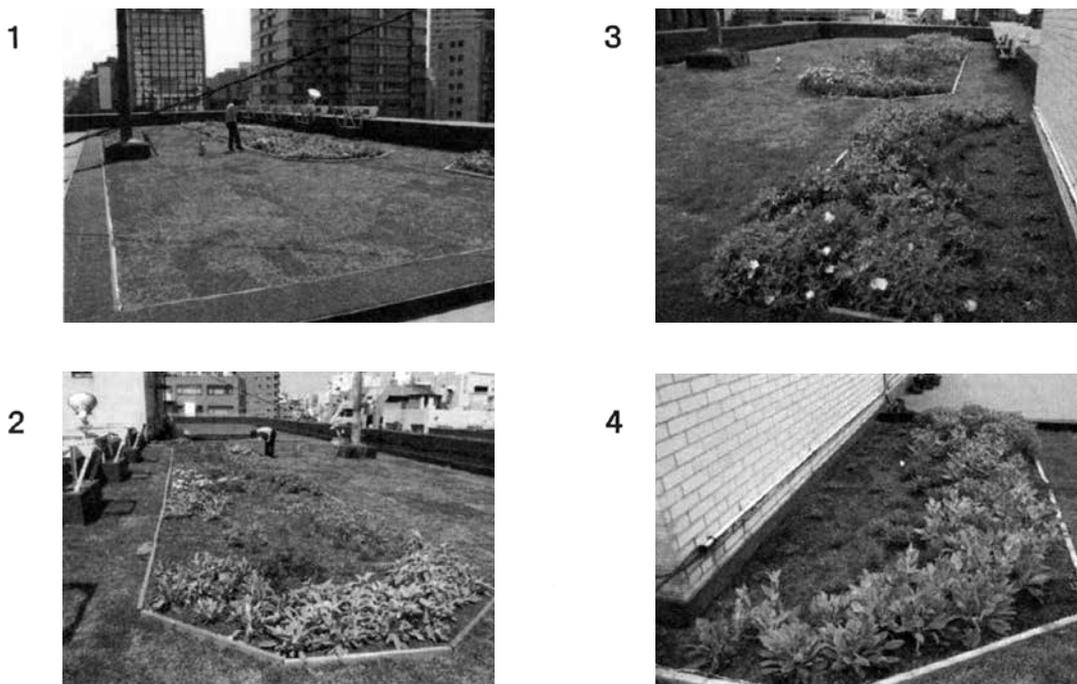
○月×日
植栽作業完了後

* 工事途中の様子がわかるよう、工事が実施された順番に写真を並べてください。植栽基盤のなかに埋まってしまふ材料の工事は、工事後に確認ができないため、かならず撮影してください。

(10) 完成図面 (出来高図) (作成例)



(11) 完成後の写真 (作成例)



* 平面図に、写真を撮影した場所と方向を矢印などで記入してください。

◆ 申請書等様式集 ◆

- ・ 第1号様式 屋上緑化等助成事業助成金交付申請書
添付書類
 - ・ 屋上緑化等実施計画書
 - ・ 経費を証明する書類（工事費見積書）
 - ・ 第3号様式 屋上緑化等助成事業助成金変更承認申請書
 - ・ 第4号様式 屋上緑化等助成事業完了報告書
-
- ・ 屋上緑化等実施計画書及び経費を証明する書類（工事費見積書）については、原則として添付の様式を使用してください。使用しない場合は、様式に記載されている内容と同程度の内容を記入してご提出ください。

屋上緑化等助成事業助成金交付申請書

.....年.....月.....日

(あて先)

公益財団法人川崎市公園緑地協会理事長

住 所.....

氏 名..... 印

電話番号.....

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名)

次のとおり屋上緑化等助成事業助成金の交付を受けたいので申請します。

申請内容	金 額 円 内訳 屋上緑化 円 壁面緑化 円		
所在地		面積または、延長	緑化面積 m ² 緑化壁面延長 m 誘引基盤面積 m ²
工 期年.....月.....日 ~年.....月.....日		
添付書類	①屋上緑化又は壁面緑化の実施計画書 ②実施場所の位置図 ③工事費見積書 ④緑化関係図書(計画平面図、詳細図、植栽基盤・誘引基盤等断面図、等) ⑤実施場所の工事開始前の写真 ⑥実施場所の建築物等の所有者の承諾書(申請者と所有者が異なるとき) ⑦その他 (.....)		

- ※ 現状の屋上緑化等の改造又は更新する場合や着手している場合は申請できません。
- ※ 屋上緑化は、専ら1・2年生の植物による花壇や菜園の場合は申請できません
- ※ 申請内容の金額は、消費税相当額を含まない見積金額を記入してください。
- ※ 上記以外の目的で個人情報を利用することはありません。

経費を証明する書類（工事費見積書）

工 種	品 名	形状寸法	数 量	単 位	金 額	リサイクル材 使用の有無	
助成対象工事							
防水 工事	防水工事			m ²			
	防根層工事			m ²			
植栽 基盤 工事	保水シート			m ²			
	土壌層（厚さ 10cm）			m ²			
	〃（厚さ 15cm～30cm）			m ²			
	排水層			m ²			
	縁留め材等（高さ 13cm）			m			
	〃（高さ 18cm）			m			
植栽 工事	多年 生植物	高中木			本		
		低 灌木			本		
		地 被 類	ポット苗			株	
			芝生			m ²	
			セダム・苔			m ²	
	つる性植物			株			
	一・二年 生植物	草花類			株		
野菜類				株			
自然環境 創出施設 工事	池防水			m ²			
	池護岸			m ²			
補助資材 工事	ポール・ワイヤー・ネット類			組			
	トレリス類			m			
	パーゴラ類			基			
安全対策 施設工事	支柱・支持材類			m			
屋上排水 対策施設 工事	ドレーンカバー類			個			
灌水設備 工事	配管			m			
	弁類			個			
	水栓類			個			
	〃			台			
	自動灌水装置類			個			
管理施設 工事	保守点検通路			m ²			
消費税							
計							

※経費は単価に含む。

屋上緑化等助成事業助成金変更承認申請書

.....年.....月.....日

(あて先)

公益財団法人川崎市公園緑地協会理事長

住 所.....

氏 名.....印

電話番号.....

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名)

.....年.....月.....日付けで屋上緑化等助成事業助成金交付決定のあった事業について、次のとおり変更承認申請します。

変更理由
及び内容

添付書類

- ①屋上緑化又は壁面緑化の実施計画書
- ②実施場所の位置図
- ③工事費見積書
- ④緑化関係図書(計画平面図、詳細図、植栽基盤・誘引基盤等断面図、等)
- ⑤実施場所の工事開始前の写真
- ⑥実施場所の建築物等の所有者の承諾書(申請者と所有者が異なるとき)
- ⑦その他 (.....)

※ 上記以外の目的で個人情報を利用することはありません。

屋上緑化等助成事業完了報告書

.....年.....月.....日

(あて先)

公益財団法人川崎市公園緑地協会理事長

住 所.....

氏 名.....印

電話番号.....

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、
名称及び代表者の氏名)

次のとおり、屋上緑化等成事業を完了したので報告します。

<p>事業内容</p>	<p>1 実施場所 川崎市.....区.....</p> <p>2 実施内容</p> <p><input type="checkbox"/> 屋上緑化(緑化面積)m²</p> <p><input type="checkbox"/> 壁面緑化 <input type="checkbox"/> 緑化壁面延長m</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引基盤面積m²</p> <p><input type="checkbox"/> 立面植栽基盤面積m²(緑化面積)</p>
<p>完成年月日</p>	<p>.....年.....月.....日</p>
<p>添付書類</p>	<p>①経費の支払を証明する書類(領収書のコピー可)</p> <p>②完成図面</p> <p>③施工中と完成後の写真(全体が分かるもの)</p> <p>④その他(.....)</p>

※ 事業内容欄の□に✓を記入してください

※ 上記以外の目的で個人情報を利用することはありません。

**川崎市屋上緑化等助成事業
助成金交付申請の手引き**

発行：川崎市・公益財団法人川崎市公園緑地協会
発行日：平成30年 3月

